



とうえい

令和5年2月9日
東栄小学校
学校だより第10号

ドラえもんのことば！

立春を過ぎ、春のやわらかな気配をかすかに感じる季節となりました。先日、新聞に「好きな言葉」というテーマで書かれた記事が掲載されていたので紹介します。

私は、よく言えば思いやりがある。悪く言えば気が弱い。それが私の性格です。いやなことがあっても、相手に仕返しするなんて勇敢なことはできません。だから私だけが傷つく一方です。いろいろな人に「少しだけでよいから言い返さない。何を言っても許されると思われて、今後も傷つけられるよ」と言われました。その通りだと思っていましたが、私はできません。そんな時、ドラえもんが言った『**いじわるされるたびに、親切にしてやったらどうだろう**』という言葉に出会いました。今まで言われてきた言葉とは180度逆さまです。しかし、どの言葉より心に響いたし、納得できました。余裕のある達感した大人みたいでカッコいいし、何より私の情けない性格に一番合っている方法なのです。これこそ、いやなことがあった時に思い出す言葉です。(中日新聞朝刊より抜粋)

みなさんは、この新聞記事を読んでどのように思いましたか？弱いことは、決して悪いことではないということです。弱い人だからこそ分かることもあり、自分の弱さを見つめることは、誠実な人間でいるために、とても大事なことです。世の中の不条理に対して媚びへつらってしまうほど弱いままでいてはいけません。誰にでも不条理に逆らえない心の弱さがあります。そこを理解して生きていくことも大事だと思います。自分の弱さを分かっておき、そんな自分に無理のない精いっぱい誠実さを示していければ、それでいいのではないかと思います。無理に不条理と戦って、引き替えに何かを失うようなことがあれば、それはかえって深い傷になることもあるのではないのでしょうか？胸に秘めておきたい**ドラえもんのことば**です。

先日行ったいじめ調査で「いじめや嫌がらせをされた」と答えている人がいます。いじめや嫌がらせをした人は、傍らで学校の仲間や新聞に投書した人のように我慢している人がいることも知っておいてほしいと思います。誰もが楽しく笑顔で過ごすためにも、優しく温かい言葉がかけられる皆さんであってほしいと願っています。



～いいところみつけの旅 その10～

令和5年度前期児童会役員選挙に13名の子どもたちが立候補しました。各クラスへの演説まわり、立会演説など、どれをとってもやる気と勇氣にあふれていました。何にも増して素晴らしいのは、「東栄小学校のために自分ができることをしたい」という思いをもって立候補したことです。

(校長 井田 寿)